

平成25年第4回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成25年第4回定例会一般質問通告書順

日付	順番	議員名	会派名
12月3日	1	酒井睦夫	市民クラブ
	2	青野直	流政会
	3	中川弘	誠和会
	4	松田浩三	誠和会
12月4日	5	根本守	誠和会
	6	西川誠之	市民クラブ
	7	楠山栄子	市民クラブ
	8	斉藤真理	公明党
	9	加藤啓子	市民クラブ
12月5日	10	伊藤實	誠和会
	11	松尾澄子	公明党
	12	徳増記代子	日本共産党
	13	小田桐仙	日本共産党
	14	乾紳一郎	日本共産党
12月6日	15	阿部治正	
	16	森亮二	流政会
	17	藤井俊行	市民クラブ
	18		
	19		

質問事項	要 旨
<p>1 生活保護対策について</p>	<p>(1)平成 2 4 年度の生活保護受給者は 9 8 1 世帯となっている。以下について問う。 ア 前年より 2 4 世帯減った要因はなにか。 イ 生活保護廃止が 1 4 4 世帯となっているが、再就職による離脱は何件あったか。 ウ 生活保護開始が 1 2 3 世帯あったが、「5 0 歳以下の働く世代」は何人か。 (2)ケースワーカー等の支援状況について問う。 ア ケースワーカー 1 人当たり何世帯を担当しているか。また支援の内容はいかなるものか。 イ 「再就職」のための「就労指導」はどのような内容か。 (3)「貧困の連鎖」対策について問う。 ア 生活保護世帯の子どもは「不登校が多い」というデータがあるが、本市の実態はどうか。 イ 中学生の不登校対策として「学習教室」など特別の施策は実施したか。 (4)生活保護費の扶助費については、国からの補助金や地方交付税交付金で、必要な経費の財源が措置されていると聞いているが、生活保護を担当するケースワーカーなどの人件費相当の経費については、どのような財源措置になっているのか。</p>
<p>2 外国人旅行者の本市への誘致について</p>	<p>(1)外国人旅行者を増やすため、下記の施策を取ってはどうか。 ア 外国人専用旅館や浅草のガイドとタイアップすること。 イ 外国語チラシを準備すること。 ウ オープンガーデンや陶芸等のサークルとタイアップすること。 エ 市内案内のボランティアガイドとタイアップすること。</p>
<p>3 「新鮮食味」対策について</p>	<p>(1)設立からちょうど 2 年が経過したが、3 年目の「事業計画」はいかなるものか。 (2)他市(柏市、我孫子市、野田市)の農産物直売所を参考にすることはないか。 (3)民間の力を活用する考えはないか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 魅力ある教育の実践について</p>	<p>(1) 平成 2 6 年度予算編成示達では、今年度補正予算と平成 2 6 年度当初予算を一体で編成する 1 5 ヶ月予算編成方針が示された。小中学校併設校建設事業をはじめ、学校エアコン設置事業等、また、学力、気力、体力のある教育を更に、充実する上から予算確保は重要と考える。厳しい予算編成が予想される中で、教育委員会としての予算確保について基本方針を問う。</p> <p>(2) 幼児教育支援センター附属幼稚園では、つばさ学園との連携を密にして、発達障がいの傾向がある園児の対応に努力されている。幼児教育支援センター附属幼稚園における統合保育の更なる実践の充実について問う。</p>
<p>2 市民への安全な水の安定供給について</p>	<p>(1) 安心安全な水道水の供給に向けて、老朽管の更新をはじめ、西平井浄水場、東部浄水場の更新状況、水道水の安全確保、そして、災害時の水源の確保等についての新たな対応策を問う。</p> <p>(2) 水道事業を取りまく情勢が変化している中で、市民ニーズの把握に努めながら、災害時はもとより日頃も水の大切さを呼びかけることが大事と考える。更なる情報提供とお客様サービスの充実策について問う。</p>
<p>3 南部地域の諸課題について</p>	<p>(1) 流山本町では、史跡等を求めて、市内外から多くの観光客が訪ねているが、流山本町地区商業者への影響と更なる振興策について問う。</p> <p>(2) 流山本町には、来訪者が多くなり以前に比べ活気を取り戻している。これは、行政をはじめ地域住民のおもてなしの心と市民活動団体の協力が大きな力となっている。平成 2 6 年には、白みりん誕生 2 0 0 年の記念の年を迎えるが、更なる発展に向けて、おもてなしの心の醸成や案内看板、マップ作成配布等の取り組みについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 防災にかかわる諸施策の実施状況について問う</p>	<p>(1) 現在、各自治会に防災無線子機の設置が進められているが、遅々として進んでいない。防災無線子機の設置の有効性については諸説あることは承知しているが設置事業が唐突に実施されたことは大いに問題と考える。よって以下について問う。</p> <p>ア 従前にも防災無線子機が自治会長宅に設置されたがその所在、活用状況、効果をどのように把握していたのか。</p> <p>イ 今回改めて防災無線子機を自治会に設置することとした経緯はどうなっていたのか。</p> <p>ウ 設置の進捗状況はどうなっているか。</p> <p>エ 設置をした自治会の責任についてどう考えているのか。</p> <p>オ 今後の運用についてどのように想定しているのか。</p> <p>カ 残った購入済み防災無線子機はどのように利用してゆくのか。</p> <p>(2) 避難所は有事の際に不可欠なものであるが、現在当市で進められている避難所整備はその運営が伴わなければ意味がない。よって、以下について問う。</p> <p>ア 全市民を避難所に収容することは不可能である。有事の際に避難所を利用する市民としない市民をどのように判断するのか。</p> <p>イ 災害の内容によって利用すべき避難所が変わる可能性があると思うが当局はどのように考えるか。</p> <p>ウ 避難所の責任者の担い手はどうあるべきと考えるか。</p> <p>エ 耐震・免震マンションなどを補助的避難所として活用することについてどう考えるか。</p> <p>オ 自主避難所との連携をどのように想定しているのか。</p>
<p>2 度重なる防災危機管理課所管事業における不手際について問う</p>	<p>(1) 小学校教室の災害時連絡拠点の自治会への割り当て、防災無線子機の自治会設置、議会・関係者との連携なく進められた総合防災訓練、官民協働危機管理クラウドシステム実証実験の直前になっての延期など、手前勝手に起因する防災危機管理課所管事業に不手際が次々と発生している。当該部署に対するマネジメントは大いに問題である。よって、以下について問う。</p> <p>ア 不手際が続いているが当局は問題意識を持っているのか。</p> <p>イ 再発防止に向けどのような方策を講じるのか。</p>
<p>3 防犯灯の設置・運営の在り方について問う</p>	<p>(1) 現在、防犯灯の設置・運営は市からの補助金を受け自治会が担っているが自らの生活道路ばかりでなく都市計画道路までその範囲に入っており運営面の負担ばかりでなく自治会未加入の市民との間での経済的負担の不公平も生じている。全面的な公的管理とすべきと考えるがどうか。</p>

質 問 事 項	要 旨
<p>1 改正災害対策基本法の成立を受けて</p>	<p>(1)災害時要援護者台帳はすでに整備されていると思うが対象者と登録状況はどうか問う。 (2)避難行動要支援者名簿の整備状況等はどうか問う。 (3)平常時からの情報の共有が求められていると思うが個人情報等の取り扱いについて問う。</p>
<p>2 防災活動の啓発等について</p>	<p>(1)いのちを守る情報を市民にどう届けようとしているのか問う。 (2)地域と行政が一体となって減災・防災を進める方策はどのようなことが有効と考えられるか問う。</p>
<p>3 民生・児童委員の支援策等について</p>	<p>(1)ちば県民児協のホームページでは災害時要支援者台帳作成と災害時マップ及び緊急連絡網作成の実施主体が民生児童委員協議会となっている。整備状況等について問う。 (2)自治会と、15 小学校区の地区社会福祉協議会、8 中学校区の民生・児童委員協議会、さらに地域包括支援センターが地域見守りネットワークに関わっている。職務分掌等を整理すべきではないか当局に問う。 (3)民生委員の責任は無限である。災害時等の支援活動の際の責任と災害補償等はどうか問う。</p>
<p>4 北部地区の街づくり等について</p>	<p>(1)江戸川台東口の駅前ロータリーの植栽等について問う。 (2)商店街の活性化の一助と期待するぐりんバスのバス停の増設の可能性について問う。 (3)江戸川台 6 号公園の浄化槽等について問う。 (4)残置、放置された公園内、緑地内、路上の工作物等の処理について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 バス事業の導入について</p>	<p>(1)南流山駅と流山本町を結ぶ民間バスの導入の経過について問う。</p>
<p>2 土地区画整理区域内の自転車対策と道路環境について市長に問う</p>	<p>(1)新しい街づくりと自転車対策等について問う。 (2)新たな道路環境としての自転車専用道路の整備について問う。</p>
<p>3 バリアフリーに対する当局の政策について</p>	<p>(1)博物館及び図書館のバリアフリーについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 認知症対策について問う</p>	<p>(1) 厚生労働省が平成 2 7 年度より「要支援 1 ・ 2 級」対象者は、地方へ移管する。また特別養護老人施設などに収容する認知症患者は「要介護 3 級」以上などのガイドラインを設定するなど、審議会で論議されてきたが、地方自治体からの大きな声で、短兵急に実施することへの反対が大きく、厚生労働省としては実施の先送りをするのではないかと仄聞している。</p> <p>ア これらの情報を執行部としては、どう受け止めているか。</p> <p>イ 安心メールでの認知症患者の徘徊など「行方不明者捜査」の実態はどうか。</p> <p>ウ 当市の認知症サポーターに関しての「養成講座」の成果はどれくらいか。</p> <p>エ 練馬区・長野県佐久市・お隣の柏市などで始めた「認知症キッズサポーター養成講座」制度について把握しているか。</p> <p>オ 市内の小中学生への「認知症キッズサポーター」教育を実施する計画はないか。</p>
<p>2 私道の整備・寄付に関する特例措置について問う</p>	<p>(1) 私道を整備するための条件はどのようなものがあるのか。また市へ寄付するための条件はどうか。</p> <p>(2) 私道に関わる開発行為に伴う帰属道路は年間どのくらいあるのか。</p> <p>(3) 所有者が複数いる場合の市への寄付に当たり、所有者の一部が相続などで不明の場合、市でその所有者を調査し、同意を求めることはできないか。</p> <p>(4) 不明の場合は、隣接地権者の同意があっても寄付は受け付けられないのか。</p>
<p>3 名都借跨線橋及び関連道路（前ヶ崎・向小金 1 号道路など）の交通量調査などについて問う</p>	<p>(1) 名都借跨線橋を含め交通量調査はいつ実施したか。</p> <p>(2) 調査の結果、交差点飽和度及び滞留長の現状をどう評価分析しているか。</p> <p>(3) 調査に当たっては、近隣へのヒアリングをおこない、調査日・時間帯などを調整すべきという意見が出ていたが、どう対応したのか。</p> <p>(4) 跨線橋工事完了後の交通量増加が予見できる。県道への右折対策とスクランブルの継続検討を含め生活実態に合った再調査が必要ではないか。また交差点そのものの改良工事が必須と思われるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
1 出前講座について	<p>(1) 出前講座の対応、手順について問う。</p> <p>(2) 出前講座の要望、評価について問う。</p> <p>(3) 出前講座のDJポリス化について問う。</p>
2 医療費増大について	<p>(1) 医療費増大の現状について問う。</p> <p>ア 国民健康保険における医療給付額の推移について</p> <p>イ 国民健康保険特別会計への繰り出し金の推移について</p> <p>ウ 後期高齢者の医療費の推移について</p> <p>(2) 医療費増大に対する、市の取り組みについて問う。</p>
3 高齢者問題について	<p>(1) 地域包括支援センターについて問う。</p> <p>ア 地域包括支援センターの業務範囲について</p> <p>イ 地域包括支援センターのマンパワーについて</p> <p>ウ 地域包括支援センター第三者評価制度導入の進捗について</p> <p>エ 2025年対策について</p> <p>(2) 高齢者福祉施設の第三者評価制度について問う。</p> <p>ア 高齢者福祉施設設立および運営において、補助金等、市との関係について</p> <p>イ 当市の第三者評価制度はどのように機能しているのか。</p> <p>ウ 評価結果は公表されているか。</p>

質問事項	要 旨
1 高齢者対策について	<p>(1)平成24年第2回定例会において一般質問した高齢者向けの「成人用肺炎球菌ワクチン接種」について、流山市でも、早急に公費助成すべきではないか。</p> <p>(2)高齢者施設等では、傾聴や、見守り、配ぜんの補助など、様々なボランティア活動が行われているが、小さな子供さんとの交流を考えてはどうか。</p> <p>(3)年金、医療、介護などの問題を抱え市役所を訪れる高齢者が、安心して相談できる窓口として、「高齢者お助け相談室」を設置してはどうか。</p>
2 防災対策について	<p>(1)防災行政無線について以下について問う。</p> <p>ア 近年多発している竜巻や、大規模な地震発生時の対策として、市民に速やかに危険を周知する為に緊急を要する場合には、サイレンを鳴らすなど工夫してはどうか。</p> <p>イ 防災行政無線の内容が聞き取れなかった場合、専用電話で内容を聞く事ができるが、緊急の場合、すぐに電話がかけられるよう、短縮ダイヤルにすることはできないか。</p> <p>(2)年々勢力を増しているゲリラ豪雨や、竜巻、台風、大雪などにより、住宅に隣接している民地の大木等が倒れることで、民家に影響を及ぼす懸念のある箇所が、市内にある。そういった場合、市としては、どのような対応を考えているか。</p> <p>(3)第1、第2、第3コミュニティホームについて、公共施設でありながら、耐震工事の計画が無いことから、今後の対応については市と地域住民とで協議しながら検討していくということであるが、当面は現状のまま、危険性のある施設を利用することになる。平成23年第2回定例会で要望したが、まずは、災害時の避難マニュアルを作成し、利用者に周知すべきではないか。</p>
3 交通安全対策について	<p>(1)県道柏流山線と、都市計画道路3・3・28中駒木線との交差点は、ホームセンターやスーパーのオープンなどに伴い、交通量が増加しているため、右折信号の付いた機種に変更できないか。</p> <p>(2)今年に入り、事故が多発している三輪野山2丁目交差点の安全対策について、今後どのような対策を考えているか。</p>
4 一人親家庭における医療費の現物給付について	<p>(1)平成23年第2回定例会でも一般質問したが、平成26年度から重度身体障害者医療費助成給付が現物給付となることから、一人親家庭医療費についても、償還払いではなく現物給付とすべきではないか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市の子育て支援施策について</p>	<p>(1) 子ども・子育て支援法施行に向けての市の施策について問う。 ア 流山市の「子ども・子育て会議」における、子ども・子育て支援法施行までのタイムスケジュールについて問う。 イ 流山市内の保育所、保育園、幼稚園（認可、無認可、市立、私立を含む）への子ども・子育て支援法施行後の運営方法や保育教諭の意向調査をしているか。 ウ 待機児童解消加速化プランについての流山市としての取り組み状況はどうであるか。 エ 「子ども・子育て会議」で検討されていることを幼児支援センター、地域子育て支援センターではどのように議論しているのか。 オ 浦安市にある子育て相談総合窓口や保育コンシェルジュ、子育て支援パスポートの導入の可能性について カ 児童センターの開館時間と有効利用について</p> <p>(2) 昨年度議会で検討すると答弁のあった、教育コーチングとユネスコスクールの検討結果について問う。</p>
<p>2 流山市職員の雇用状況について</p>	<p>(1) 人件費と物件費である臨時職員費用を含めた職員全体の費用の経年比較について問う。 (2) 臨時職員から職員への登用事例について問う。 (3) 昨年度退職者の再就職の現状と今年度末退職予定者の再就職予定先等について問う。</p>
<p>3 専決処分について</p>	<p>(1) 公用車の事故の専決処分について問う。 ア 公用車の事故の過去 5 年間の件数と損害賠償額の推移について イ 公用車の保険内容の付帯状況について ウ 過失相殺等を含めた示談内容についての了解は誰が判断しているのか。 エ 事故を起こした職員の処分と事故防止啓発策について</p>
<p>4 庁内のセキュリティについて</p>	<p>(1) 放射能除染業者の入札情報の流出について問う。 ア 朝日新聞社から本市への連絡内容について問う。 イ 今後の庁内データ流出防止策について問う。 (2) 庁内の公文書等の管理について問う。 (3) 休日等の警備体制について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市北部地域における交通安全対策について</p>	<p>(1)市道213号線(小屋・西深井1号補助幹線)の交通安全対策としての歩道整備と信号機の整備計画は、どのようなになっているのか問う。</p> <p>(2)市道富士見台交差点の江戸川台西4丁目方面から右折車両対策として「右折レーン」の整備計画は検討されているのか問う。</p>
<p>2 新川承水路の雨水排水対策について</p>	<p>(1)新川承水路は過去の経緯から、雨水対策のための水路と変貌しているが、この水路に流入している面積は、非常に広範囲となっている。更に沿線での宅地開発が進み、保水能力が低下しており、水路の流量断面不足と曲折した水路と相まって周囲に冠水の状態を起こしている。抜本的な対策をすべきと考えるがどうか問う。</p> <p>(2)流山市のハザードマップについて問う。</p>
<p>3 官民協働危機管理クラウドシステムの実証実験の中止について</p>	<p>(1)この実証実験そのものを否定するものではないが、中止の理由説明を聞いていると、システムの問題のように受け取ったが、それは初歩的な問題のようであり、今後、改めて計画の見直しを考えるべきと思えるがどうか問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 災害時要援護者避難支援の取り組みについて</p>	<p>(1) 流山市は平成 20 年 3 月に「災害時要援護者避難支援計画」を策定しているが、個人情報の取り扱いのルールや、福祉避難所の計画的整備など、より実効性のあるものとするため「災害時要援護者支援条例」を制定すべきと思うが市の見解を問う。</p>
<p>2 台風 26 号による被害の対応策について</p>	<p>(1) 災害対策本部の設置の経緯と、情報収集や連絡体制について問う。 (2) 流山市の被害状況と避難勧告や避難指示の明確な発令の基準について問う。 (3) 大きな被害が発生した東初石地域の浸水対策について問う。</p>
<p>3 教育問題について</p>	<p>(1) 彫刻刀や習字道具等の学用品について、学校が仲介した業者から購入しているが、キャラクター入りの高額なものが多く、教育的配慮に欠けるのではないかと、という声が保護者から寄せられている。当局の見解を問う。 (2) 中央図書館が耐震補強工事のため、休館となったが、図書の貸し出しについて利用者の利便を図るため、近距離にある市役所での受け渡しは出来ないか問う。</p>
<p>4 北部地域のまちづくりについて</p>	<p>(1) ネグロス電工跡地に大型スーパーの進出が予定されているが、開業に伴い周辺道路状況が大きく変化するものとする。そこで以下 2 点について問う。 ア 大橋団地から直進してきた 6 差路交差点(東深井 4 8 0 地先)の安全対策について イ ユーアイネット向かい側の信号の溜まりを確保するため、開発から外れた民有地を買い取る考えはないか問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 社会保障プログラム法案について</p>	<p>(1) 来年4月からの消費税増税と一体で行う社会保障「改革」を定めた異例の法案であり、医療、介護、年金、子育てなど、市民生活への影響をどうとらえるか市長に問う。</p> <p>(2) 特に、介護保険の「見直し」案は、訪問介護と通所介護を自治体事業への移行や、負担強化に市民の不安が広がっている。流山市の対応を問う。</p>
<p>2 学習支援事業の創設について</p>	<p>(1) 「貧困の連鎖」を克服する学習支援事業は重要だと思うが、流山市でも実施すべきではないか。</p>
<p>3 教育費の父母負担軽減について</p>	<p>(1) 平成22年度からクラブ活動費、生徒会費、PTA会費が支給項目となり、要保護世帯に支給されている。準要保護世帯にも支給すべきではないか。</p> <p>(2) 高校進学にあたり、保護者負担軽減制度を周知させるべきではないか。</p>
<p>4 「東小学校前通学路道路拡幅整備事業」について</p>	<p>(1) 「名都借交差点のところまで道路を広げてほしい」という住民の要望にどうこたえていくのか。</p> <p>(2) 道路交通法施行規則の一部改正により、「自転車の安全利用通行方法等」の変更に見合った道路にすべきではないか。</p> <p>(3) 名都借900-3地先地点の東部中学校入り口の横断歩道設置について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>(1) 平成 26 年度予算編成について</p> <p>ア 消費増税など国政の影響が市民の生活や生業に深刻な影響を与えかねない中で、自治体の役割が問われてくるが市長の見解を問う。</p> <p>イ 平成 24 年度一般会計決算に対する指摘・要望事項（議会全体の合意事項）の反映について</p> <p>ウ 小中併設校や市民総合体育館建替えの 2 大プロジェクトをどう教訓化し、今後の市政運営に活かすのか。</p> <p>エ 子どもの福祉や教育予算の充実について。</p> <p>オ 農業・商工業の振興策の充実について。</p> <p>カ 市長退職金や入札監視委員の委嘱について問題点を指摘してきたが、市長の見解を問う。</p>
<p>2 教育行政について</p>	<p>(1) 政府の審議会が発表した教育委員会制度改革案について教育長の見解を問う。</p> <p>(2) 小中併設校について</p> <p>ア 文部科学省では 31 学級以上の学校規模を過大規模校としており、様々な研究でも、学校運営や教育効果への懸念が危惧されている。課題解決に向けた取り組みについて</p> <p>イ 現在は既存校に通い、小中併設校開校時に併設校学区へ編入される新中学 3 年生及び新小学 6 年生の児童生徒について、機械的な学区線引きをせず、子どもの目線に立ち、これまで築いてきた教師や友人との親密な人間関係や部活動、とりわけ落ち着いた学校生活を保障するためにも、希望を踏まえた柔軟な対応が必要と考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢を問う	<p>(1) 「秘密保護法案」は、国政の重要問題で、国民の目と耳、口をふさぎ、国民の知る権利、言論・表現の自由を脅かすと心配されているが、「情報公開日本一」をかかげる市長の見解を問う。</p>
2 公共施設の現状と更新について問う	<p>(1) 人口減少時代には、開発や「ハコモノ」よりも、公共施設とインフラの維持・管理、更新などに公共事業の重点を移すべきと考えるが、市長の認識を問う。</p> <p>(2) 「第3次公共施設保全計画」における将来の改修、更新費用の推計について</p> <p>(3) 公共施設の現状を的確に把握するための「白書」や維持・管理、更新の基本方針、それを推進するための中長期の計画の策定について</p>
3 医療・保健について	<p>(1) 福島県の健康調査で疑いを含め59名の甲状腺がんが確認されており、ホットスポットの東葛地域でも子育て世代に心配の声があがっている。すでに近隣市では、何らかの健康調査が実施されており、流山市での実施は急務と考えるがどうか。</p> <p>(2) 平成25年度の特健診充実事業で、心電図検査の実施を「メタボ・服用なし」に制限したことに間違いはなかったのか。医師会からは元に戻すよう求められているが、新年度の対応を問う。</p>
4 南部地域のまちづくりについて	<p>(1) 流鉄流山線南側の都市計画道路3・3・2号線建設事業で地域の生活道路が閉鎖される問題で、地元自治会から出されている要望にどう応えていくのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 高齢者介護の施策について</p>	<p>(1) 流山市における「お泊まりデイサービス」の実態をどのように把握しているか、千葉県が 1 1 月 1 日から運用を始めたお泊まりデイサービスに関するガイドラインに基づき流山市ではどのような対策を行っているか、介護保険制度を用いた宿泊サービスの充実策についてどのような対応策を考えているかを問う。</p> <p>(2) 社会保障制度見直しの手順などを定めたプログラム法が制定されようとしており、その先には 2 0 1 5 年度の介護保険制度の改定が予定されているが、流山市としてこれらの動きに対してどのような見解を持ち、どのような備えを行っているかを問う。</p>
<p>2 放射能汚染対策について</p>	<p>(1) 野田市のエパークリーンの爆発事故は民間事業者における放射能汚染物質の管理のずさんさを明らかにしたが、同様の問題が流山市内で存在しないかどうかの調査を行ったか、その結果はどうであったか、今後の対策をどう考えているかを問う。</p> <p>(2) 原発事故子ども・被災者支援法の基本方針が閣議決定されたが、その内容について、市民の健康に責任を負う流山市として、また国に対して支援対象地域への指定と子どもの健康調査の実施を要請してきた流山市として、どのように考えているかを問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 消費増税後の動向について</p>	<p>(1) 来年 4 月の消費税率の引き上げ後の市政への影響について問う。</p> <p>ア 財政面での影響はどのようなものを想定しているのか。</p> <p>イ 市内経済への影響はどのようなものを想定しているのか。</p>
<p>2 スポーツ振興策について</p>	<p>(1) 2020 年東京オリンピックの開催が決定した。そこで市独自のスポーツ振興策について問う。</p> <p>ア 市表彰に関してスポーツ賞を設立してはどうか。</p> <p>イ 小中学校における部活動の数の格差是正策の検討状況はどうか。</p> <p>ウ 小中併設校における部活動(文科系も含む)に関しては、どのようなものを想定しているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 学童クラブの更なる充実について</p>	<p>(1) 各学童クラブ指導員の雇用環境について ア 決算資料にある労働条件について イ 子ども・子育て支援事業計画は、どのようなビジョンを持って作成していくのか。 ウ 保育園と学童クラブ指導員の労働条件などの待遇差をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 学童クラブの運営状況について ア 学童クラブ設置及び管理に関する条例について問う。 イ 運営の課題と対策について問う。</p> <p>(3) マーケティング課が推進する「住民誘致を図る上で、長寿社会を支える共働き子育て夫婦『DEWKS』にターゲットを絞った」施策の中には学童クラブの充実は含まれているのか問う。</p>
<p>2 卓球のまち推進事業について</p>	<p>(1) ランバーコア卓球台を発明した地元優良企業と健康というキーワードを備えた卓球を市として積極的に推進していくべきではないか。</p> <p>(2) 卓球の県大会をはじめとする大きな大会の招致や東京オリンピック・パラリンピック開催に備え、外国チームの練習場として招致を推進していくべきではないか。</p>
<p>3 小中学校のトイレ改修について</p>	<p>(1) 現在の和式トイレの状況と今後の改修計画について問う。 ア 和式トイレを速やかに洋式トイレへ改修すべきと思うがどうか。</p>
<p>4 まちづくりについて</p>	<p>(1) 江戸川台の活性化対策について ア 総合計画にどのように位置づけられ、今後どのように振興していくのか。</p> <p>(2) 新設道路には可能な限り景観に配慮して標識や看板等を設置していくべきではないか。</p>